

履 歴 書 ・ 職 務 経 歴 書			2 0 2 0 年 6 月 1 1 日 現 在				
ふりがな		ブロイ クリスチャン					
氏 名							
Breu Christian							
1996年			4月	3日生	(満 24 歳)	男・女	
ふりがな		とうきょうと としまく かみいけぶくろ 3-3 4-1 1 1 2 0 7 号				携帯電話 070-4518-6417	
現住所		〒170-0012					
東京都 豊島区 上池袋 3-3 4-1 1 1 2 0 7 号						メール アドレス cbreu0@icloud.com	
年	月	学 歴 ・ 職 歴 (各別にまとめて書く)					
		学歴					
2006	9	高等学校 エッテンハイム				入学	
2014	7	高等学校 エッテンハイム				卒業	
2014	10	アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルク 工学部 情報工学科				入学	
		2 0 1 6 年 9 月 から 2 0 1 7 年 3 月 ま で 早稲田大学 留学 日本語教育プログラム					
2019	3	アルベルト・ルートヴィヒ大学フライブルク 工学部 情報工学科				卒業	
2019	6	株式会社夢テクノロジー				入社	
		派遣先：ボッシュ株式会社 (2019年6月～現在)					
		以上					

取得年月	免許・資格・検定・賞・など
2013年4月	運転免許 (ドイツ・日本)
2015年10月	TOEFL (101 points)
2017年3月	早稲田大学 留学 日本語教育 プログラム
2019年6月	日本語能力試験 N2

自己PR	<p>私の長所は目標を達成するまで、頑張り続ける事です。</p> <p>学生時代にはゼミの研究で認知モデリングのプログラムを作成しました。期待した結果が出るまでロジックを考え続けて、数多くのパターンをテストして最終的に作成完了したプログラムの結果は、教授を通じて学会論文へ利用してもらうことができました。大きなことを達成するために、諦めずに一生懸命、努力できることが私の長所だと考えています。</p> <p>(参照リンク：https://doi.org/10.1007/978-3-030-19570-0_33)</p> <p>また、私はプロジェクト目標を達成するために、タスクに早く着手するようにします。</p> <p>何か分からない事や問題が発生した場合は解決手段を探したり、他の人に相談したりする時間的な余裕があるので、締め切りまでタスクを終わらせる事ができます。</p> <p>大きいタスクの場合は詳細計画を作って、計画通りにタスクが実行できているかどうかを確認しながら、スケジュール調整することの重要性を理解しています。</p>
------	--

学生時代やプライベートのプロジェクトと勉強	<p>大学時代に6人のグループでゲームを作成しました。3ヶ月でSCRUMを使って、毎週Sprintレビューとプランニングの会議しました。Daily Scrumの定例会議はなかった為、Slackで問題や質問があればすぐ全員チームメンバーに連絡をとるように提案し、プロジェクトの課題はすぐに共有することにして、プロジェクトを期限内に完了することができました。</p> <p>最近プライベートの時間で勉強している事はウェブ開発のフロントエンドとバックエンドです。Django, JavascriptとReactの基礎を学んで、練習としてWebページを作っています。（参照リンク：https://github.com/ShiroDevC/portfolio）</p>
-----------------------	--

プログラミング言語・環境・フレームワーク	Java (FX, AWT, JUnit, Jmonkey Engine), Python (Django, Pylint, Numpy, Scipy CCOBRA), C# (.Net, Monogame), Lisp (ACT-R), SQL, Javascript (React, Bootstrap), C, html, Git, SVN, Trac
----------------------	---

ボッシュ株式会社の業務内容	<p>ボッシュ株式会社ではECUソフトウェア開発のセーフティモニタリングチームで勤務しております。Software System Designer - Monitoringとして、C言語を使ってISO26262に準拠したモニタリングソフトウェアの開発をしていました。</p> <p>また、上流工程としては、安全要求の担当として要件定義を担当しており英語と日本語にてお客様との定例会議等を行なっております。</p> <p>派遣評価書では上司にコミュニケーション能力と知識向上能力において特別に良い評価を頂いております。</p> <p>要件定義、開発の両方の工程を経験することで、双方の視点から、開発工程を考えることができる点は良い経験であったと考えております。</p>
---------------	---

プロジェクト	タスク	開発モデル	役割
Kプロジェクト (201908-202002)	<p>約7ヶ月 SWSD -MOでImpact Analysisと基本設計を行ないました。この影響分析で機能要求を確認して、安全かどうかの判断をしました。</p> <p>安全に係る要求に関してモニタリングソフトウェアの設計を考えて、複数人とレビューを行いました。レビュー後それぞれの機能要求に当たる開発チケットを作成しました。開発チームで手が足りない場合、C言語を使ってモニタリングソフトウェアの変更を実行しました。</p> <p>分析の結果を将来でも理解出来るようにする為に、影響と判断をわかりやすく書くようにつとめました。要求の影響をロジックに明確して、全体的な影響を理解できるような資料を作製しておりました。</p>	V-Model	SWSD-Monitoring
Yプロジェクト (202002-202005)	<p>約3ヶ月 モニタリング担当をしておりました。要件定義の面で顧客先との定例会議に入って、安全要求を貫く為の議論やISO26262についての説明したり、モニタリング概念についての質問を答えました。プロジェクトスケジュールで困らないように機能安全の大切な事を早めに明確して、議論しておりました。</p>	V-Model	SWSD-Monitoring